

千葉骨髓バンク推進連絡会

第36回

2026年度定期総会

と き 2026 年 5 月 10 日 (日)

ところ 船橋市勤労市民センター
第 一 講 習 室

総 会 次 第

1 開会の言葉

2 議長選出

3 会長挨拶

4 議 事

(1) 2025年度事業報告

(2) 2025年度決算報告

(3) 2025年度監査報告

(4) 2026年度事業計画（案）提示

(5) 2026年度予算（案）提示

(6) 役員改選について

(7) その他

5 閉会の言葉

2025年度 事業報告

はじめに

2025年度の骨髄バンクを介しての採取実施数は、1,038例で前年より12件増加しました。

(2026年3月末現在 累計30,539例)

国内における新規ドナー登録者数は、30,439名で前年度比5,384人減となりました。

(2026年3月末現在 登録者数564,155名)

また、末梢血幹細胞移植採取数(PBSCT)は、431件実施され、前年より88件増加しました。

(2026年3月末現在 累計2,891件)

千葉骨髄バンク推進連絡会での活動報告

2025年度は主催事業としての「チャリティ コンサートと落語会」を昨年に引き続き開催しました。

また「いのちの輝き展」(パネル展)を11会場で開催しました。

千葉の会の例年の活動としては、献血併行型登録会を延べ374回開催しました。(千葉県赤十字血液センター所管372回、東京都赤十字血液センター所管の「東京雪祭」会場2回)

普及啓発活動は「骨髄バンクチャリティ コンサートと落語会」、「イオンモール船橋での説明会」、「成田市健康福祉祭り」、「語りべ講演会」を開催しました。

他団体主催イベントには、「東京雪祭」、「東京マラソン」、「埼玉の会コンサート」「箱根駅伝」等4回参加しました。

公的組織、他団体との会議では、薬務課・日赤との「三者会」、厚生労働省の「造血幹細胞移植委員会」日本骨髄バンクの「評議員会」、千葉県の「千葉県造血幹細胞移植推進協議会」、全国骨髄バンク推進連絡協議会の「理事会」等に10回参加して参りました。

研修会は「地区普及広報委員・説明員研修会」「関東・甲信越地区ブロックセミナー」等2回参加しました。

2025年度の詳細活動報告としては、

主催事業として

第10回目となる「チャリティ コンサートと落語会」は落語を二人演者、コンサートをピアノ三重奏として成田市文化芸術センターなごみの米屋スカイタウンホールで前年に引き続き開催し、約240名の方々にご来場いただき、大盛況でした。

パネル展は、富津市・富里市・茂原市・佐倉市3会場・千葉県・船橋市・香取市・八街市・市原市の11会場で開催しました。図書館、市役所、ショッピングモールなど足を運びやすい会場で多くの来場者に見ていただきました。船橋市ではショッピングモールでの開催期間内の1日を登録説明会とケア帽子展示も行い、来場者への理解を深めることができました。

献血併行型登録会、普及啓発活動として

献血併行型登録会は、大きなイベント会場として幕張メッセのフリーマーケット、東京オートサロンが開催されました。

献血ルームでは県内5箇所の献血ルームで毎月2～4回、定期的を実施し、社会貢献意識の強い献血者へ働きかけができました。

若年層の登録者増が期待できる県内大学等では、千葉大学・帝京平成大学・千葉商科大学・中央学院大学・麗澤大学・秀明大学・流通経済大学・木更津高専・城西国際大学・敬愛大学・江戸川大学・国際医療福祉大学・国際武道大学・順天堂大学(さくら)順天堂大学(浦安)・SBC東京医療大学・東京理科大学・植草学園の18校の他、千葉県消防学校・千葉県警察学校でも実施しました。その他の会場として航空自衛隊・陸上自衛隊・海上自衛隊でも実施しました。

ショッピングセンターでは、イオンモール幕張新都心・イオンタウン木更津朝日・イオンモール木更津・ユニモちはら台・カインズ市原店・アリオ市原・袖ヶ浦ゆりまちモール・イオンタウン旭・イオンタウンユーカリが丘・イオンモール成田・イオンタウン野田七光台・ジョイフル本田富里店・イオンタウン君津・ベイシアいすみ大原店・ベイシア東金店・サンモール・イトーヨーカドー四街道店・イトーヨーカドー流山店・イオン大網店・セブンパークアリオ柏・ユアエルム成田・イオンモール千葉ニュータウン店・酒々井アウトレット・交流拠点KOMPAS・ベイシア富里店・ニッケコルトンプラザ・ベイシア佐倉店・コストコ木更津倉庫店の28店で実施しました。

これまで毎年登録会回数を増加してきましたが、19年度の369回以降、コロナの影響で20年度は161回と激減、21年度は224回とやや持ち直し、22年度は336回、23年度は395回、24年度は392回、25年度は372回の登録会を自治体、大学、ショッピングモール等で行って参りました。

普及啓発活動は木更津高校、袖ヶ浦高校、匝瑳高校での語りべ講演会を行いました。

また、成田市健康福祉祭り、イオンモール船橋での活動を行いました。

ケア帽子製作は継続して定期的に行い、2025年度は11病院へ520個の帽子を寄贈しました。

また、新たな会員・説明員増を図るための「ドナー登録説明員養成講座」が県主催で前年に引き続き開催され、11名が受講し、全員が説明員資格を取得しました。

一方、千葉の会主催の説明員養成研修も開催し、3名の方が受講しました。

最後に当会が陳情活動に力を入れてきたドナー助成制度ですが、2023年度に芝山町、鋸南町の導入が確認され、現在54市町村中54すべての自治体で導入されています。

ドナー休暇制度導入推進にも力を入れて参りましたが今後も推進して参ります。

2025年度決算報告

◆収入の部

(円)

項 目	25年度予算	25年度決算	増 減 額	摘 要
前年度繰越	2,277,621	2,277,621	0	
会 費	129,000	141,000	12,000	45名(正会員・賛助会員)
寄 付・募 金	200,000	218,414	18,414	寄付 個人、コンサートと落語会募金等 黄色いレシート寄付54,600円含む
助 成 金	120,000	116,000	-4,000	全国協議会共催事業 東 京マラソン、箱根駅伝
事 業 収 入	400,000	765,000	365,000	コンサートと落語会
賞 金	0	0	0	
雑 収 入	79	249	170	銀行利息
合 計	3,126,700	3,518,284	391,584	

◆支出の部

項 目		25年度予算	25年度決算	増 減 額	摘 要
事 業 費		700,000	693,206	-6,794	定例会会場費(59,530) ケア帽子パネル展費用(119,317) コンサートと落語会(514,359)
活 動 促 進 費		70,000	54,600	-15,400	ティッシュ購入なし 黄色いレシートでプリンターインク購入
広 報 費		0	0	0	全国協議会ニュース有料購入 有料購入なし
分 担 費		12,000	12,000	0	全国協議会年会費
販売物購入費		10,000	0	-10,000	販売物購入なし
事 務 費	通 信 費	100,000	90,500	-9,500	切手代、宅配便代
	電 話 代	60,000	68,597	8,597	事務局電話代
	コ ピ ー 代	5,000	3,780	-1,220	コピー代
	雑 費	50,000	57,434	7,434	事務消耗品
派 遣 費		100,000	80,859	-19,141	普及啓発交通費/活動費
寄 付		0	0	0	寄付なし
交 際 費		20,000	0	-20,000	懇親会費用
賞 金 支 出		800,000	641,000	-159,000	パネルボード、付箋、ジャンパー他
予 備 費		50,000	21,120	-28,880	千葉の会封筒印刷
次年度繰越金		1,149,700	1,795,188	645,488	
合 計		3,126,700	3,518,284	391,584	

郵便局 1,479,340
 千葉銀行(事務局長名義) 167,642
 千葉銀行(会計担当名義) 985
 現金 147,221
 1,795,188

収入-支出
 0

2025年度 千葉骨髓バンク推進連絡会監査報告

千葉骨髓バンク推進連絡会規約第33条の規定に基づき、2025年度の監査を2026年4月2/日に実施しました。

記

1 監査対象期間 2025年4月1日～2026年3月31日

2 提出された書類 ①現金出納表
②通帳類（普通預金）会計担当用
③通帳類（普通預金）事務局長用
④証拠書類

3 監査結果 提出された書類に基づき内容を審査した結果、いずれも帳票及び証拠書類は正確に処理されており、現金の出納についても誤りがないことを認めます。

2026年4月2/日

千葉骨髓バンク推進連絡会

監事

牛島 英二 

2026年度 活動方針と計画

はじめに

2025 年度、千葉骨髓バンク推進連絡会は、全国骨髓バンク推進連絡協議会と共に設立 35 周年を迎えました。ドナー登録者の累計数が 2025 年 5 月 22 日に 100 万人に到達し、10 月 31 日には日本骨髓バンクを介した移植累計症例数が 3 万例に到達しました。ドナー登録者累計数は 2025 年 5 月に 100 万名を達成しました。また関東甲信越地区ブロックセミナーの主管会となり、船橋で開催しました。

2026 年度も心新たに皆様と力を合わせて下記 6 本柱の活動を行ってまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

1. 普及啓発活動

- ◆「骨髓バンクチャリティ コンサートと落語会」、「いのちの輝き展」を継続開催します。
- ◆県市町村、保健所、日本赤十字社、各種団体等へ情報を提供し、骨髓バンクへの理解と協力を深めてもらうため、会報や全国協議会ニュースを定期的に送付します。(毎月約 100 箇所配布)
- ◆若者ドナー増を図るため若者向けの普及啓発を PR します。また薬務課経由で千葉県内の全大高中小学校にリーフレットの配布を継続すると同時に、学校における語りべ活動を実施します。
- ◆SNS 活用による普及啓発を継続します。
- ◆日本赤十字看護大学生の研修に協力します。

2. ドナー登録会及び登録説明会の開催

- ◆千葉県造血幹細胞移植推進協議会、三者会で調整し、コストパフォーマンスの高い会場での効率の良い「献血併行型ドナー登録会」を開催し、千葉県登録者目標 25,000 人(2026 年度目標 2,000 人)を目指します。不特定多数の献血者が多く、登録者が期待できる幕張メッセ、大型店舗等や大学の登録会を継続すると共に新たな会場を開拓し、声かけを充実します。特に若年層の登録者増を図るため、大学、看護学校なども開催に重点を置き、開催をドナー登録課、献血推進課に働きかけます。
- ◆献血ルームでの献血併行型登録会に説明員を派遣し、登録者増を図ります。
- ◆日本骨髓バンクによって 2026 年 1 月 20 日よりトライアル(第 3 回)が開始され、2026 年度中に本格導入される予定です。この導入に協力します。
- ◆POPカード(ドナー登録説明希望カード)の配布、充実に努めます。

3. 各種団体への支援要請

- ◆千葉県、日赤への要請
 - ー新たな会員、説明員増を図るため、県主催の説明員講習会開催の継続を薬務課にお願いします。
 - ー献血ルームの献血者にドナー登録ができることを広報し、声かけをお願いします。
- ◆「骨髓バンク推進月間」に、県市町村の広報誌、県の HPI に関連記事の掲載を要請します。
- ◆ドナー休暇制度の導入について、引き続き県及び県内の経済関係団体に働きかけ、休みを取りにくい若年層、パート勤務者などのドナー候補者が提供しやすい環境を整えます。

4. 活動資金の調達

- ◆イオン(株)の幸せの黄色いレシート活動に協力し、引き続き活動支援いただきます。

5. 患者さん支援

- ◆白血病フリーダイヤルの相談(全国骨髓バンク推進連絡協議会主催)に協力します。
- ◆日赤奉仕団、ライオンズクラブの方々等の協力を得てケア帽子を製作し、病院及び患者会を通じて入院患者さん等に寄贈します。
- ◆全国骨髓バンク推進連絡協議会の白血病患者支援基金の「佐藤さち子基金」、「志村大輔基金」「こうのとりのマリリン基金」の普及啓発を行います。

6. 会員募集

- ◆イベント会場等での声かけを強化し、賛助会員を含めた更なる会員の拡大努力を継続し、活動力を活性化します。
- ◆新会員増を効果的に図るためホームページの TOP ページを見直し、募集が目立つようにします。
- ◆2025 年度、千葉県主催で開催した「ドナー登録説明員養成講座」に講師を派遣し、受講者 11 名に研修をおこない、説明員資格証を取得しました。内多くの方が千葉の会員になりました。2026 年度も同様の活動を行い会員増に努めます。

以上

2026年度予算(案)

◆収入の部

(円)

項 目	26年度予算 A	25年度予算	25年度決算 B	決算:予算 増減額 A-B	摘 要
前年度繰越	1,795,188	2,277,621	2,277,621	-482,433	
会 費	150,000	129,000	141,000	9,000	正会員、賛助会員
寄 付・募 金	200,000	200,000	218,414	-18,414	寄付・募金箱・黄色いレシート(66,300)
助 成 金	120,000	120,000	116,000	4,000	箱根駅伝、東京マラソン、共催事業
事 業 収 入	700,000	400,000	765,000	-65,000	成田「コンサートと落語会」
賞 金	0	0	0	0	
雑 収 入	212	79	249	-37	銀行利息等
合 計	2,965,400	3,126,700	3,518,284	-552,884	

◆支出の部

項 目		26年度予算 A	25年度予算	25年度決算 B	決算:予算 増減額 A-B	摘 要
事 業 費		700,000	700,000	693,206	6,794	コンサートと落語会 500,000 パネル展、ケア帽子 140,000 総会等会場 60,000
活 動 促 進 費		100,000	70,000	54,600	45,400	ティッシュ 28,000 風船・ボールペン他 5,700 黄色いレシート寄付分 66,300
広 報 費		0	0	0	0	全国協議会ニュース有料購入分等
分 担 費		12,000	12,000	12,000	0	全国協議会年会費
販売物購入費		10,000	10,000	0	10,000	全国協議会作製グッズ購入費等
事 務 費	通 信 費	100,000	100,000	90,500	9,500	会報郵送料 80,000 資料等発送料 20,000
	電 話 代	70,000	60,000	68,597	1,403	事務局電話代 ナンバーディスプレイ
	コ ピ ー 代	5,000	5,000	3,780	1,220	コピー代
	雑 費	60,000	50,000	57,434	2,566	事務消耗品、その他
派 遣 費		100,000	100,000	80,859	19,141	全国大会交通費補助 普及啓発交通費活動費
寄 付		0	0	0	0	
交 際 費		20,000	20,000	0	20,000	当会員、全国協議会、他団体との交際費
賞 金 支 出		200,000	800,000	641,000	-441,000	付箋他
予 備 費		50,000	50,000	21,120	28,880	その他予備費
次年度繰越金		1,538,400	1,149,700	1,795,188	-256,788	
合 計		2,965,400	3,126,700	3,518,284	-552,884	

2026年度 運営委員の役割分担

- ◆会長・運営委員長（総括） 梅田 正造
- ◆副会長 小泉 治彦（語りべ担当、ホームページ担当）
遠山 将一（会の運営全般補佐）
柴谷 みち子（幸せの黄色いレシート担当）
西島 隆史（会の運営全般補佐）、
萩原 匡祐（会報担当、SNS活用担当）
中村剛（ドナー登録会調整担当）
- ◆事務局 北村 美和子（事務局長、会計、会報印刷・発送）、眞田 律子、
相良 梢、
- ◆ドナー登録会担当 中村 剛、西島 隆史、大島 史寛
- ◆ドナー登録会説明員 梅田 正造、円東 克典、柴谷 みち子、西島 一恵、
戸辺 信晴、西島 隆史、石橋 和記、北村 勉、北村 美和子、
山本 栄、山口 智子、久永 幸子、伊庭 辰雄、萩原 匡祐、
前田 昌宏、中村 剛、辰己 百恵、佐々木 達夫、相良 梢、
眞田 律子、小泉 治彦、萩原 佑紀、京極 蓮、河口郁子
中澤 一隆、大島 史寛、塚本 紗月、大島 彩乃、穴倉 貴代美、
星名 義明、生居 絵美、後藤 敦司、門坂 幸子、南端 克弘、
青木 竹也、荒井光夫、荒井麻紀子
- ◆コンサートと落語会準備委員 全員参加
- ◆パネル展担当 久永 幸子、山本 栄、伊庭 辰雄、山口 智子
- ◆ケア帽子担当 西島 一恵、山本 栄
- ◆語りべ活動担当 小泉 治彦（推進役）、石橋 和記、荒井光夫、大島 彩乃
- ◆ホームページ担当 小泉 治彦、前田 昌宏、佐々木 達夫
- ◆会報編集委員 萩原 匡祐（委員長）、遠山 将一、北村 美和子、相良 梢、
眞田 律子、梅田正造
- ◆SNS活用委員 萩原 匡祐（委員長）、中村 剛、前田 昌宏
- ◆ドナー休暇制度推進委員 溝口 理文、円東 克典、西島 隆史、久永 幸子、佐々木 達夫、
辰己 百恵
- ◆幸せの黄色いレシート担当 柴谷 みち子、高橋 富美子
- ◆ML名簿管理 野平 晋作
- ◆監事 牛島 英二
- ◆対外役員、委員等
 - * 厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業選定・評価会議委員 梅田 正造
 - * 日本骨髓バンク 評議員 梅田 正造
 - * 日本骨髓バンク 地区普及広報委員 梅田 正造、西島 隆史、北村 美和子、柴谷 みち子、
西島 一恵
 - * 日本赤十字社 造血幹細胞事業検討委員会委員 梅田正造
 - * 日本造血・免疫細胞療法学会会員 梅田正造
 - * 千葉県造血幹細胞移植推進協議会委員 梅田 正造
 - * 全国骨髓バンク推進連絡協議会 理事長 梅田 正造

以上

注／「役割分担」に指定された以外の方も、必要に応じて参加を指名します。